2013 年度 事業報告

2013年1月1日~2013年12月31日

- ◆ 総括
- ◆ 建設事業

ベトナム ラオス タイ

- ◆ 交流事業
- ◆ その他の活動

認定特定非営利活動法人

AEFA アジア教育友好協会 Asian Education and Friendship Association

I 2013年度活動報告	I
 ■ 2013年度建設事業 1 ベトナム 地図 ソンヴァン小学校 ゾックキエン分校 プラオ小学校 アジン第3分校 チューオム小学校 本校 レドハ学校 クアンチュン中学校 アーダウ小学校 ティエンカン小学校第6村分校 レロイ小学校 パタン小学校 サトゥオン分校 スアンクアン小学材ナトイ分校 フンタン小学校 デオテー分校 チュンホア小学校 ソイチン分校 ヴェンチータイン小学校 ヴィンタン小学校 ヴィンタン小学校 フィチン分校 ヴェンチータイン小学校 ヴィンタン小学校 ヴィンタン小学校 スオイダーA小学材タンディン第2分校 ロントイB小学校 ディンフータン分校 ダックロガ中学校 寄宿舎 	V 1 V 2 V 3 V 4 V 5 V 6 V 7 V 8 V 9 V 10 V 11 V 12 V 13 V 14 V 15 V 16 V 17
2 ラオス 地図 ニュウ小学校 ハンプ小学校 バンプ小学校 ブオンナム幼稚園 ビエンカム中学校 フアパコー小学校 追加校舎 ノンテノイ幼稚園 サラワン教員養成短期大学台所	L 1 L 2 L 3 L 4 L 5 L 6 L 7
3 タイ 地図 ファイコン中学校	Т1
Ⅲ 交流事業 様々な授業の形〜スカイプの活用、留学生の協力 東京フォーラム・福井フォーラム 東京都出前授業〜32の小中学校で開催 日越外交関係樹立40周年(日越友好年)記念事業 出前授業実績	II 1 2 3 4 5
IV その他の活動 会報・通信 ホームページ・ブログ・冊子など マスコミによる活動紹介一覧 出張一覧 年間活動	V 1 2 3 4 5

平成25年度 事業報告書

平成25年1月 1日から 平成25年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の概況

平成25年度は、前年度繰越金16,805千円、及び日本財団助成金78,000千円の入金を受けて、事業 を開始しました。

事業資金は期初予算を大幅に上回り、AEFA独自でも77,140千円確保できました。学校選定を慎重に進め、24校の建設を決定し事業推進しました。しかしべトナム建設校の一部に変更が生じたため、年度内に完成したのは18校となりました。残り6校は現在建設が進行中です。2005年の事業開始以来9年間で、通算建設数は建設中を含め173校となりました。2010年に開始した教師養成奨学金制度が軌道に乗り、今年度はラオスでAEFAが建設した学校の卒業生3名が出身村の学校の先生として赴任すると言う画期的な成果が上がりました。その他、校舎修繕・フォローアップ事業も定着化しつつあります。

また、日越友好年(外交関係樹立40周年)記念事業として、ベトナムにおける小学校建設事業6件及び両国児童による共同作品制作事業1件、合計7件が日本国外務省より認定され、実施しました。

姉妹校提携推進事業は、日本の小学校44校とのフレンドシップ交流を中心に活発に展開されました。事業開始以来、累計では全国で延べ92校との交流を推進したことになります。なお本年度は東京都教育委員会推薦の出前授業が活発化し、交流校以外での出前授業が31校で実施されました。

支援者参加型プロジェクト(建設計画及び成果の共有化)の推進がAEFAへの信頼性を強化するとともに、AEFA事業の独自性・革新性が大きく評価されています。その結果、新規支援・継続支援をして下さる団体、企業、個人も増え、支援額は創業以来の記録を大幅後更新し、77,140千円となりました。

エルセラーン化粧品(株)25,000千円、㈱オーイズミ5,000千円、(株)菊岡夫婦社4,500千円など新規の大口ドナーに加え、ダイリキ㈱、議員の会、ディアーズ・ブレイン、アースバンク倶楽部、国際学校建設支援協会、など団体や企業の支援が継続されました。また、廣部武、内田安子、中西重敏、津金睦子の諸氏ほか、多くの個人が支援を継続してくださるとともに、新たに髙山秀子氏などの大口支援もありました。

なお、会員数は会費納入会員174名 (未納・休眠会員約40名含まず)、会費収入は1,096千円に止まり、会員の輪の拡大に課題を残しています。この課題解決への取組みとして、3月に第一回会員の集いを開催。支援者でもある坂東眞理子氏を迎え、講演会と、約100名の会員同士の交流を深めました。

日本の交流校でも交流が定着・進化し、支援も徐々に広がっています。日本の子どもたちからの 支援金(小中学校・11校から)は821千円となりました。

また、ワンコインスクール・プロジェクトは、昨年に引き続き福島県いわき市で継続されると共に、新たに静岡県袋井市と東京都武蔵村山市でも始まりました。入金額は、いわき市(977千円)、袋井市(3,217千円)、武蔵村山市(315千円)となり、今後の発展が期待されます。

2 事業の成果

1) 学校建設事業について:事業費=121,424千円=24校

ベトナムにおける日本財団助成での建設はクアンナム省山岳地帯を中心に11校、他に議員の会、エルセラーン化粧品㈱、アースバンク倶楽部などの支援で6校の建設が進みました。ラオスもAEFAの理念に共感する支援者(ダイリキ、イートアンドなど)の寄付が集まり、6校の建設となりました。また、タイでは福島県いわき市の中学校によるワンコインスクールが1校建設完了しました。本年度も、小中学校の校舎建設だけでなく、幼稚園・寄宿舎・台所食堂の建設を推進することで、地域全体の一層のまとまりが進み、教育環境の向上に寄与してきました。

また、校舎を修繕するフォローアップ事業を継続・推進しました。建設後5年以上経過した学校を中心に補修作業をしました。この時期に手を入れることで、老朽化防止を図るとともに、自分達の学校を自分達で大切に維持すると言う住民の意識向上にもつながります。 建設後の学校を継続して見守っていくAEFAの方針からも、この建物修繕のフォローアップ事業には、今後とも取り組んでいきます。

建設事業はAEFA事業開始以来、順調に進展し結果として、累計ではベトナム120校、ラオス43校、タイ8校、中国2校の総合計173校となりました。 *2013年度建設校一覧・・別紙(1)

- 2) 姉妹校 (フレンドシップ校) 提携推進事業について:事業費=8,055千円
- (1) 日本の学校とのフレンドシップ交流の進化

本年度は44校の学校が活発な交流を行いました。5年以上継続している日本の交流校も19校あります。 子供たちの交流だけでなく、先生方の研修にもアジアとの交流活動が取り入れられ、全校単位で交流を 継続する工夫をしている学校もありました。

- ① 1月には、安倍総理ベトナム出張の折、フートューC小学校の子どもたちを招待して夕食会が開催されました。総理にも参加頂き鯉のぼり交流が行われました。2月には総理夫人にいわき市に出張して頂き、小中学校との交流行事が行われました。国際交流授業の推進やワンコインスクール活動にも大きな推進力となりました。
- ② 福島県いわき市の中学校44校がタイ北部山岳地域のファイコン中学校を建設するワンコインスクールプロジェクトが継続されました。『がんばりカード』を使っての取組みや、『Tシャツ』を作って販売する学校もあります。この活動は、いわき市の中学生が感謝の気持ちと復興への決意を発信するとともに、中学生の団結力も増すということで2014年度も継続されます。
- (2) 国際理解教育への貢献事業
- ① 12月24日:第1回・AEFA福井フォーラムを福井県坂井市城の子会館・大会議室にて開催 県内13の小中学校から教師43名、地域の関係者5名、AEFA3名の合計51名が参加しました。
- ② 12月26日:第8回・AEFAフォーラムを日本財団・会議室にて開催 東京都内を中心に、教師・教育専門家など24名で活発な討論と授業作り作業が行われました。
- ③ 本年度は出前授業を51回実施。通算262回となり、交流事業の充実には著しいものがあります。
- (3) 教師の養成及び質の向上支援事業
- ① ラオスにおける奨学金と研修会: 今年度の教師養成奨学金は20名、うち3名が卒業し出身村の教師として赴任しました。 11月
- ② タイにおける国際的取組み:

日本財団との共同事業として、カンボジアの師範学校卒業生(10名)と教授など関係者(5名)がファイコン小中学校での合宿研修及びソプワク小学校での研修を行いました。

3) 広報活動について

今年度は、AEFA会報を3回(15,16,17号)発行。ホームページの全面的更新をしました。また、2014年のAEFA10周年記念事業に備えて、「ドナー物語」の制作に着手しました。支援者のみでなく、学校関係者やAEFA会員・関係者の方にドナーの方々の関わり方や思い、現場の先生方の様子、現地の実情を知って頂く資料にもなると確信します。AEFAブログもこまめに更新するとともに、メーリングリストで会員の方への情報提供も頻繁に行いました。

2013年のホームページのアクセス数は、48,000件を超えました。支援を検討する方にとって、情報収集の大事なツールとなっております。現実に支援者の方は全員がホームページを見た上で支援を考えたとコメントしています。

今年度も広報活動を積極的に進めました。その結果、日本の新聞/16回、海外テレビ/2回(ベトナム)、海外新聞/2回(ベトナム)、AEFAの活動が紹介されました。

3 事業の実施に関する事項

当期収入額 155, 283千円=日本財団78,000+AEFA友の会77, 140+その他143

当期支出額 138,577千円=建設事業費121,424+交流事業費8,055+管理費9,098

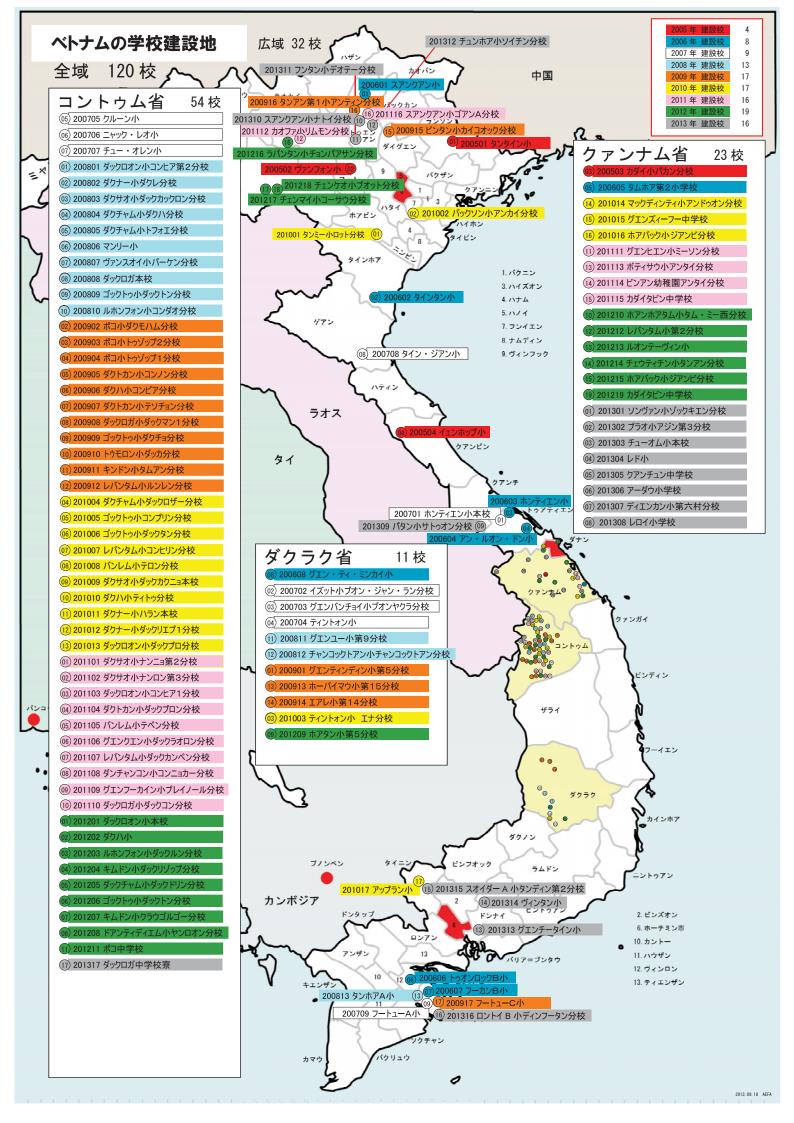
当期収支残 16,706千円=現在建設中(2014年度建設予定)4校の建設費に充当される予定です。

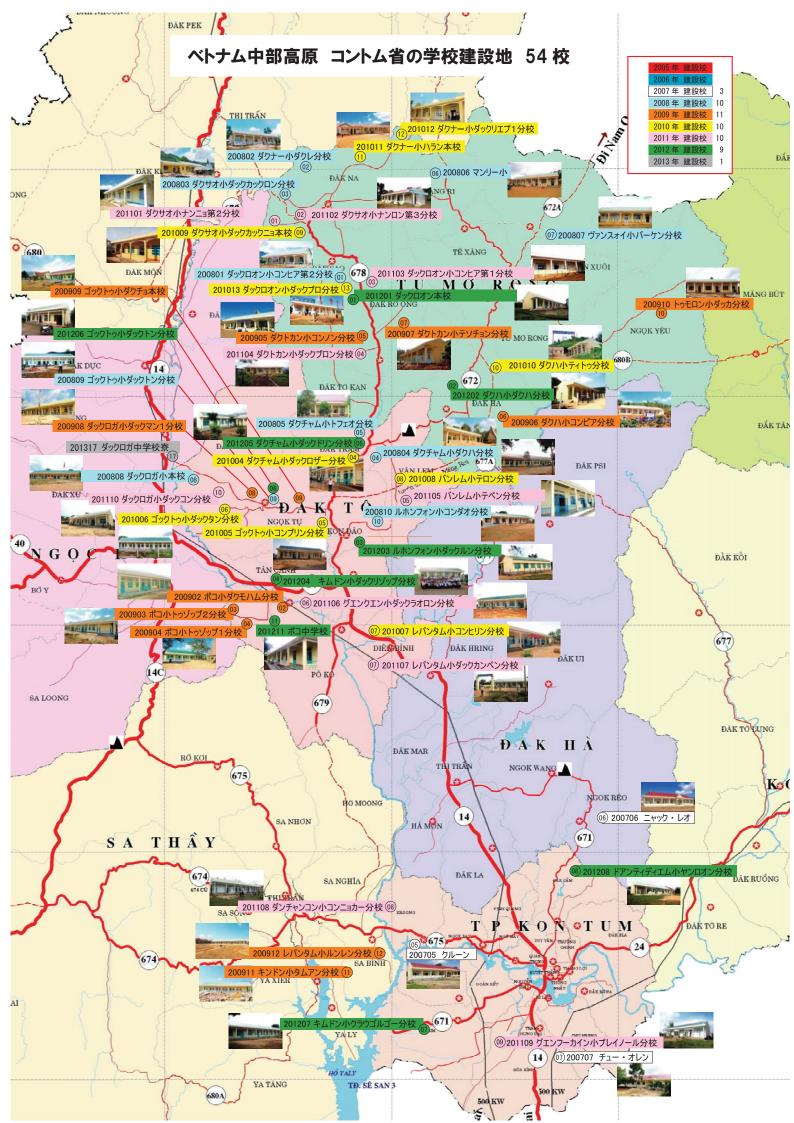
<対事業支出額内訳>

事業名	事 業 内 容	実 施日 時	実 施場 所	従事者 人数	受益対象者 の範囲及び 人 数	支出額 (単位:千円)	
学校建設事業	<学校建設> ベトナム・ラオス・タイ山岳極貧地域の学校建設 <地域自立支援> 上記学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 <教師育成事業> 奨学金事業及び研修会	2013. 1. 1~	3カ国 1 24校	6名	建設地域の住民お よびその子弟。 生徒数: 1校平均100名程度 =合計 2400名 教師数:120名 奨学金=20名 研修会=50名		
日本の学校との 姉妹校提携推進 事業		2013 12 3		8名	現地1校当り 100名程度 日本1校当り 100名程度	8, 055	
	③東京フォーラム		各地域 日本財団 丸岡町会館	10名	各回:約100名 合計:約5000名 教育関係者他:25名 教育関係者他:51名		

別表—1 <u>2013度 建設校一覧</u>

	国名	地域	学校名	備考
1	ベトナム	クアンナム省	ソンヴァン小学校ゾックキエン分校	エルセラーン1%
2			プラオ小学校アジン第3分校	クラブ
3			チューオム小学校	アジアの子供たち
				に学校をつくる議員の会、日本財団
4			レド小学校	日本財団
5			クアンチュン中学校	
6			アーダウ小学校	
7			ティエンカン小学校第六村分校	
8			レロイ小学校	袋井市ワンコイン
				実行委員会
9		クアンチ省	パタン小学校サトゥオン分校	エルセラーン1%
				クラブ
1 0		トゥエンクア	スアンクアン小学校ナトイ分校	日本財団
1 1		ン省	フンタン小学校デオテー分校	
1 2]		チュンホア小学校ソイチン分校	ェルセラーン1%クラブ
1 3]	ドンナイ省	グエンチータイン小学校	アースバンク、銀
				河G、ディアーズブ
				レイン他
1 4			ヴィンタン小学校	日本財団
1 5		タイニン省	スオイダーA 小学校タンディン第2分校	日本財団
1 6		チャビン省	ロントイB小学校ディンフータン分校	エルセラーン1%
				クラブ
1 7]	コントゥム省	ダックロガ中学校(寮)	日本財団、草の根
				資金
1 8	ラオス	サラワン県	ニュウ小学校	ダイリキ(株)
1 9			ハンプー小学校	M. O
2 0			ブオンナム幼稚園	高橋保子
2 1			ビエンカム中学校	イートアンド (株)
(25)			サラワン教員養成短期大学・台所食堂	谷川裕ほか
2 2		チャンハ゜サック県	フアパコー小学校	国際学校建設支援
2 3			ノンテノイ幼稚園	協会
2 4	タイ	チェンマイ県	ファイコン中学校	福島県いわき生徒
				会長サミット







ベトナム

クアンナム省ドンザン郡バー社ゾックキエン村

ソンヴァン

小学校 ゾックキェン

分校

Song Vang

School Doc Kien

Branch

事業実施前の 状況

(2012年10月現在)児童数72名。地方政府建設の現在の教室は2012年建設とまだ新しいが、井戸、トイレはない。教室数の不足から半日授業を実施。本校まで8km。山岳地帯にあるカトゥー族の貧しい村。農業が主たる生業で、米を作り、鶏、アヒル、豚を飼育。一人あたりの平均年収は500万ドン(約21500円)。飲料水、農業用水ともに重力水システムでパイプを引いているが水はきれいとは言えない。成人の識字率は40%。村民の教育程度は低く、農業生産に近代的技術応用する術がまだない。

新校舎

3教室+WC+井戸

生徒数

生徒72名(1~5年生)·先生5名

住民数

865人 (180世帯)

民族

カトゥー族(98%)、キン族(2%)

支援

エルセラーン化粧品(株)

交流校

高輪台小 (東京都)

現在の状況

(2014年4月現在) ◆学校の様子:児童数68名、先生7名(他の分校もあわせると全体で児童156名)。校長:Ms Tran Thi Bich Ngoc。就学率100%、中学進学率100%。◆新校舎:2013年10月25日使用開始。9月25日にはエルセラーン1%クラブの皆様列席のもと新校舎開校式開催した。10月25日新校舎使用開始。きれいな校舎を維持できるよう努力をしている。現在井戸はあるが、綺麗な水、フェンス、校門などがない状態。保護者との関係もよく、定期的にPTA会議を行い校舎設備の維持などを話し合っている。学校の土地はチン副校長の寄付。地方政府からは整地などの協力があり、また少数民族の子供達への教育について連携している。真面目に勉強し、助け合い、努力して自立し、創造あふれる人間に育てたい。★「日越友好年(日越外交関係樹立40周年)記念事業」















ベトナム

クアンナム省ドンザン郡プラオ社アジン村

プラオ

小学校 アジン第3

分校

P' Rao

School Adinh 3

Branch

事業実施前の 状況 (2012年10月現在)児童数85名。1998年建設の校舎はセメントやレンガ造りで傷みが激しい。教室不足から午前1-3年、午後4-5年の複式授業を実施。校庭、井戸、トイレはない。山岳地帯にあるカトゥー族の村。米、キャッサバ、とうもろこし、バナナを栽培し、鶏、アヒル、豚等を飼育。1人あたりの平均年収300万ドン(約12600円)。成人識字率は90%。飲料水、農業用水ともに重力水システムでパイプを引くが、未濾過で衛生的でない。貧しく、米も不足している。貧困の原因は耕作地不足、地滑り等の自然災害、渇水。

新校舎

5教室+WC+井戸

生徒数

生徒85名(1~5年生) • 先生10名

住民数

394人 (115世帯)

民族

カトゥー族

支援

エルセラーン化粧品(株)

交流校

平章小(福井県)

現在の状況

(2014年4月現在) ◆学校の様子:児童数80名、先生5名。校長:Ms. Tran Thi Lien。就学率100% ◆新校舎:2013年3月14日使用開始。4月15日にはエルセラーン1%クラブの皆様列席のもと開校式を開催した。新校舎完成で子供達の出席率が増し喜んで勉強しており、教員のモチベーションもあがっている。より長い期間使えるように維持をしていきたい。電気がひかれていないので、今後電気の敷設、井戸の設置が必要(現在は雨水利用の水タンク。また週3で小川に水汲みに)。保護者とは子供達の学校生活の情報などを交換しPTA会議を行っている。地方政府や保護者の協力により、学校周りに竹のフェンスが完成した。子供達にはカリキュラムに沿って基礎的な知識と生活技能を教えていきたい。★「日越友好年(日越外交関係樹立40周年)記念事業」















ベトナム

クアンナム省タイザン郡チューオム社アチュオン村

チューオム (本校)

小学校

分校

Ch'Om (Main)

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年10月現在)児童数189名。現在1984年建設の木造校舎のみ。2~8キロ離れた村から通う児童もいる。教室不足から1~2年生は複式授業。井戸、電気、トイレがない。ラオス国境に近い山岳地帯にあるカトゥー族の村。1人あたりの平均年収400万ドン(約17200円)以下。米、キャッサバ、とうもろこしを栽培。米の自給は10ヶ月。水牛、牛、豚、鶏等を飼育。成人識字率は80%。貧困原因として耕作地不足や農業生産の技術不足、自然災害等。村民は非常に貧しいので、子供の教育には手が回らない状態である。

新校舎

5教室+WC+井戸

生徒数

生徒189名(1~5年生) • 先生23名

住民数

537人 (78世帯)

民族

カトゥー族

支援

アジアの子どもたちに学校 をつくる議員の会様

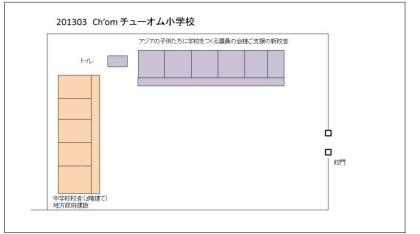
交流校

現在の状況

〈2014年4月現在〉◆校長:Mr. Tran Huu Nhat ◆学校の様子:児童数178名、 先生・事務55名(隣の中学は生徒264名)、就学率100%、中学進学率100% ◆ 新校舎2013年9月使用開始。学習する&教える十分な環境が整い児童・教師共に 喜んでいる。校舎は完成したが、今後本や遠方者のための寮の充実が必要であ る。PTA会合は定期的に行われ、保護者は学校の清掃など協力してくれている。 子供達は学習態度もよく規律正しい、勉強熱心でドロップアウトする学生もい ない。教師としては子供達に知識やモラルを教えるだけでなく、自分で物事を 創造したり知識を実社会で活かせるように指導したい。















ベトナム

クアンナム省タンビン郡ビントゥ社

レド

小学校

分校

Le Do

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年11月現在) 児童数312名。現在の8教室は1989年建設と古く、雨漏り等 の修理が必要。また2部制解消のため、新教室が必要。学校に井戸はあるが、 飲料水は児童が家から持参。トイレは男女一つづつ。農業と林業が主な平地に あるキン族の村。米、キャッサバ、とうもろこし、薩摩芋を作り、米の自給は 可能。1人あたりの平均年収900万ドン(約40700円)。飲料水は井戸、水道 を、農業には川水や雨水を使用。成人識字率100%。農地は少なく、灌漑農業に 消極的なため、生産性は低い。貧困原因は仕事不足と子沢山。

新校舎

4教室+WC+井戸

生徒数

生徒312名(1~5年生) - 先生28名

住民数

536人(100世帯)

民族

キン族

交流校

日本財団

支援

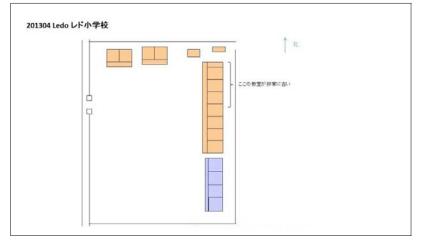
村岡小(福井県)

現在の状況

(2014年5月現在)◆学校の様子:児童数444名、先生39名。校長:Vo Nguyen T ang。就学率100%、中学進学率100% ◆新校舎:2013年10月使用開始。正面の 校舎も政府の予算で校舎(8教室-先生の会議室、他)を建設中、2014年9月に完 成予定。新校舎の完成により授業時間が増加し子供達の学びの質が向上。郡の 優秀生徒コンテストでも2位になり、教員もより熱心に指導している。児童数も 増加した。設備としては科学を教えるためのPCが12台程あると充実する。元か らあるトイレの老朽化が進んでいるが修理する資金が不足している。経済状況 は厳しいが、保護者は協力的で少額の物を購入するお金を支援してくれてい る。子供達には知識、モラルだけでなく生きていくための技能を教えていきた い。図書館の本も求められている。















ベトナム

クアンナム省ヌイタン郡タムソン社

クアンチュン中

小学校

分校

Quang Trung secondary

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年10月現在)社で唯一の中学校で、離れた5村から196名が通学。1996年建設の校舎は損傷が激しい。学校に井戸はあるが教室数や設備が不足。男女兼用のトイレがひとつのみ。山岳地帯にあるキン族の村で学校から郡の中心まで30キロあり、雨季の間通行はかなり難しい。農業と林業が主たる産業で、米、キャッサバ、アカシアを作り、牛、豚、鶏を飼育。1人あたりの平均年収400万ドン(約17200円)以下。成人識字率は100%。飲料水は井戸から。乾季は水不足。教育レベルの低さ、交通の便の悪さが貧困の原因。

支援

日本財団

交流校

新校舎

4教室+WC

生徒数

生徒234名 (6~9年生) • 先生26名

住民数

575人 (160世帯)

民族

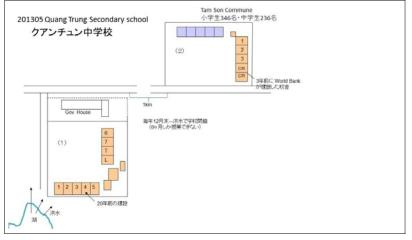
キン族

現在の状況

(2014年5月現在)◆学校の様子:生徒数226名、先生・事務員26名。校長:Tran Cuc。 就学率100%。高校進学率90%、10%は職業訓練校に進学。高校卒業者の10-15%は大学へ進学、10-15%は農業に従事。 ◆新校舎:2013年9月使用開始。新校舎完成により子供たちはより勉強熱心になり、出席率も上昇。成績優秀者は15人から20人に増加。今まで山間部で設備の整わない中教えていたので、教員も非常に喜んでいる。今後は、実験室などがあれば、学びの質の更なる上昇が期待できる。また会議室、運動場、先生が寝泊まりできる部屋などが充実するとなお良い。保護者の生活は依然厳しいが、協力的。地方政府は財源が少ないため支援は多くない。子供達には知識やモラル、進路などについて教えていきたい。















ベトナム

クアンナム省タイザン郡ダン社

アーダウ

小学校

分校

A Dau

School

Branch

事業実施前の 状況

(2013年11月現在) 児童数87名。2003年建設の木と竹でできた粗末な校舎で午 前1、2年生、午後3、5年生が複式で学ぶ。山間部にあるため人々の生活は厳し く、また道路などの状況もかなり悪い状態。村人の平均年収は1,500,000VN D (日本円で約7000円)、米やキャッサバを育てるが自給できるのは6ヶ月の みで主にキャッサバを食べている。少数民族カトゥー族が生活。日常はカトゥ 一語を使って話すため、ベトナム語を学ぶための教育環境を早急に整える必要 がある。

支援

日本財団

交流校

新校舎

生徒数

3.5教室+WC+井戸

生徒87名(1~5年生) - 先生2名

住民数

263人 (31世帯)

民族

カトゥー族

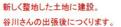
現在の状況

2014年6月新校舎は完成。新年度から校舎は使い始められる。





201306 A Dau アーダウ小学校











ベトナム

クアンナム省ティエンフック郡ティエンカン社第6村

ティエンカン

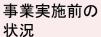
第6村 小学校

分校

Tien Canh

School Hamlet 6

Branch



(2014年1月現在) 1987年建築の2教室があるが、雨漏りなど老朽化が進み倒壊 の危険性が出てきたため、2013年6月で校舎を閉鎖。通っていた80名の子供達 は、2013年9月より4km離れた本校に通っているが、低学年の子供達にとっては 距離があり、特に雨季の通学は大変となる。 本校では323名の子供達が学 ぶ。十分な教員数の確保ができていないため、半日制の授業を行っている。

新校舎

2教室+WC

生徒数

生徒85名(1~4年生)・先生3名

住民数

1023人 (221世帯)

民族

キン族

支援

青い地球の子供たちアーク (夢の貯金箱)

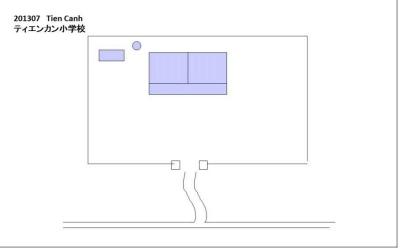
交流校



(2014年5月現在)シン校長先生。建設状況:床、屋根が完了。2014年7月完 成。2教室で、午前・午後で使う予定。行政、親の会も積極的に学校に協力して いる。赤十字、外国のNGOと共に、障害者・環境教育を行っている。親の会 は木を植えたり、家の貧しい子供に奨学金(500,000ドン(約2500円)/年)を 出している。イベントがある時も積極的に協力している。地区の人民委員会よ り、この学校はいい学校として表彰されている(本校)。校長先生は、緑を多 くして学校をきれいにしていきたいと考えている。環境も良く、地域の人も協 力的。本校の校舎(1997年建設)













NO PHOTO

ベトナム

クアンナム省ヒエップドゥック郡フックチャ社第4村

レロイ

小学校

分校

Branch

Le Loi School

事業実施前の 状況 (2013年7月現在)児童数:277名(1~5年、本校・分校合わせて)。本校の児童数:100名。教員:26名。本校は教室不足から午前(1.3.5年生)午後(2.4年生)の半日制。現在の校舎は1999年に政府建設。2008年の台風で屋根が吹き飛び修復するものの、現在も雨漏りしている。クアンナム省は自然災害(台風、土砂崩れ)などの被害が多く、毎年水害に見舞われる。この学校の地域は昨年5回地震があった。

新校舎

3教室

生徒数

生徒277名(本校の生徒数は1~5年生、 100人)。先生26人(本・分校)。

住民数

1720人 (379世帯)

民族

カヨン族・ムノン族

支援

袋井市ワンコイン実行委員 会

交流校

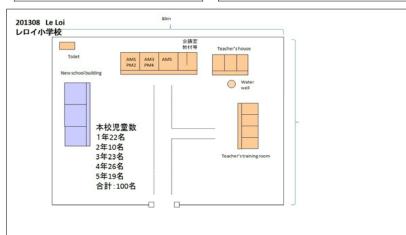
高南小·浅羽南小(静岡 県)

現在の状況

2014年7月新校舎完成。2014年8月22日に袋井市長をはじめとする視察団が出席し、開校式が行われる。















ベトナム

クアンチ省フォンホア郡パタン社

パタン小

_{小学校} サトゥオン

分校

Pa Tang

School Xa Tuong

Branch

エルセラーン化粧品(株)

事業実施前の 状況

(2013年6月現在) 児童数118名。地域で唯一の小学校で本校と5分校。この分校の木造校舎(1987年建設2教室) は建築技術も構造も粗末で損傷激しく、子供達が中で学ぶのも危険。半日授業しか出来ず、1年生は隣の幼稚園から1室を間借り中。全日授業には5教室が必要。郡の中心地から50キロの辺鄙で貧しい村で622家族の39.87%は貧困層。農業と牧畜で生計をたて、貧困層の一人当たり平均月収280,000VND(約1400円)、それ以外の人は700,000VND(約3500円)。パタンの就学児童(6-11才)は601名。うち85名は未就学。

支援

交流校

新校舎

5教室

生徒数

生徒91名(1~4年生) · 先生6名

住民数

3518人(622世帯)

民族

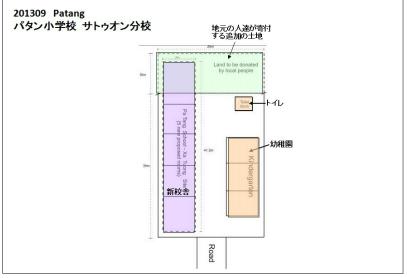
ブル・ヴァンキエウ族

現在の状況

2014年5月新校舎は完成。新年度から校舎は使い始められる。エルセラーン1%クラブの皆様の参加で9月5日に開校式が行われる。















ベトナム

トウェンクアン省チエムホア郡スアンクアン社ナトイ 村

スアンクアン

小学校プナトイ

分校

Xuan Quang

School Na Thoi

Branch

事業実施前の 状況 (2013年2月現在)児童数57名。現在の木造校舎(3教室)は2008年建設。井戸はあるが、トイレは教師・児童兼用の仮設ひとつのみ。タイ一族、ザオ族、モン族、ヌン族等が住む村で各民族には独自の生活・文化習慣があるが団結して子供達の学習環境を整備。森や丘陵を徒歩で通学。本校まで6キロ。米、とうもろこし、ジャガイモ等を栽培、水牛豚、鶏等を飼育。村民平均年収756万ドン(約32500円)。成人識字率は80%。池や湖から水を運ぶ。雨季は洪水、乾季は水不足と厳しい気候、資金不足等が貧困の主な原因。

新校舎

3教室+WC+井戸

生徒数 生徒!

生徒57名 (1~5年生) · 先生26名

住民数

291人 (87世帯)

民族

タイ一族、Dao、モン族、Nung

支援

日本財団

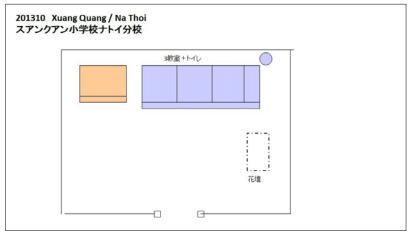
交流校



(2014年2月現在) ◆学校の様子:新設した校舎(3教室)に通う1-3年生の児童数35名(4,5年生は本校へ)、先生3名。Pham Thi Huong校長。中学進学率100%。◆新校舎:2013年4月25日着工、8月23日完成。8月25日使用開始。1-3年生が村の分校の丈夫な校舎で学べるようになった。子供達には基本的な教育を与え、よく勉強し、国を担えるような良い人間性をもった子供に育てていきたいと考えている。保護者も厳しい環境にあるが子供達を学校に通わせるよう努力をしている。地方政府からは整地や井戸掘削の際に協力があった。今後オルガンなど音楽教材があると、より一層教育の充実がはかれる。















ベトナム

トゥエンクアン省ハムイェン郡フンドゥック社デオテ 一村

フンタン

小学校 デオテー

分校

Hung Thang

School Deo Te

Branch

事業実施前の 状況 (2013年10月現在)児童数65名、先生5名。1999年建設の現在の仮校舎で5学年が学ぶ。土でできた壁は所々はがれてボロボロになり、風や雨が吹き込む状態。安心して学べる頑丈な校舎が必要。一番遠い子供で3.5km離れた村から通う。本校は8km離れている。村の主な産業は農業と林業で、村人の平均月収は560.000VND(約2800円)と低い。米の自給は7か月のみ。成人の識字率は80%

支援

日本財団

交流校

新校舎

3教室+WC+井戸

生徒数

生徒107名(1~5年生) • 先生5名

住民数

147世帯

民族

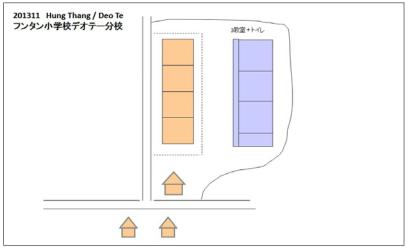
ザオ族

現在の状況

(2014年2月現在) ◆学校の様子:児童数51名 (1年9名、2年5名、3年13名、4年19名、5年15名) 、先生5名。校長:Ha Hong Lanh(Mr)。就学率、中学への進学率ともに100%。◆新校舎:2013年12月9日着工、2014年3月1日完成、3月3日より使用開始。丈夫な新校舎建設で安心して学べるようになった。少数民族の子供達が毎日きちんと通学しており、学習態度も良くしっかり勉強をしている。また教育問題について地方政府との連携もよい。家でも学べるように保護者たちとも協力しており、また設備を一緒に直したりもする。校舎は新しくなったが、机やいすなどは依然古いものを使用している状態。















ベトナム

トゥエンクアン省チエムホア郡チュンホア社チュンロイ村

チュンホア

小学校

ソイチン

支援

交流校

分校

Trung Hoa

School Soi Trinh

Branch

エルセラーン化粧品 (株)

事業実施前の 状況 (2013年9月現在)児童数69名、先生4名。就学年齢の子どものうち8%が、貧困のため就学できていない。貧困のため最低限の生活をしたり、政府の補助を受けて生活している者もおり、生活ぶりは苦しく、中学へ進学する児童も少ない。人々は農業(米・とうもろこし)や家畜を育てるが、村人の月収は220.00 OVND(約1100円)と低い。成人の識字率は92-95%。ベトナム語を話す者は少なくタイ一族の村の言葉を話して生活している。

新校舎

3教室+WC+井戸

生徒数

生徒69名(1~4年)・先生4名

住民数

851人 (187世帯)

民族

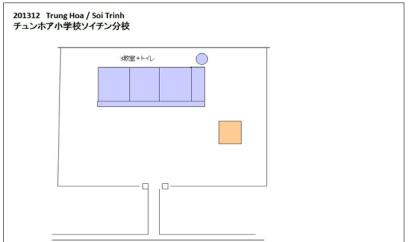
タイ―族

現在の状況

(2014年2月現在) ◆学校の様子:新校舎を使用している児童数36名<1-3年)、 先生3名。4年生18名は別棟で、5年生は別の場所で学んでいる。校長:Mr Pham Van Long. 就学率、中学進学率ともに100%。◆新校舎:2014年12月9日着工、 3月1日完成、3月3日使用開始。少数民族の子供達が毎日通学して勉強しており、教育訓練省の規則にそってきちんと教えたいと思っているが、設備不足から教え切れていない教科もある。地方政府からは整地に約7万、井戸や水タンクに約15万の支援もあり協力的である。















ベトナム

ドンナイ省ビエンホア市ロンビン

グエンチータイン

小学校

分校

Nguyen Chi Thanh

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年9月現在)児童数2552名。1990年建設のレンガ造りの現校舎の机・いす・その他の備品は古い。児童数の増加=教室数不足で朝・お昼・午後の3部制で授業実施。井戸、トイレ(2つ)ある。平地にある村で住民の96%はキン族。殆どが都市生活に活路を求めて北部・中部ベトナムから移住してきた人たちで近郊の工場地帯で働く労働者。成人識字率は100%。村には水道パイプが引かれている。ビエンホア空港(ベトナム戦争時の米軍基地)に接しているため、ダイオキシンの問題を現在も抱えている地域。

新校舎

5教室

生徒数

生徒2552名(1~5年生) • 先生67名

住民数

32120人 (4968世帯)

民族

キン族(96%) モン族/タイ一族/中国(4%)

支援

アースバンク倶楽部·坂東眞 理子・その他

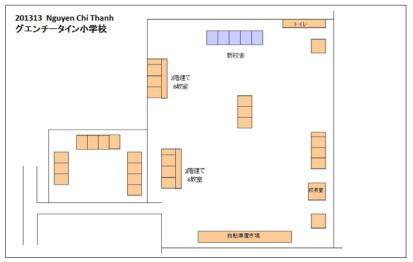
交流校



(2014年4月現在) ◆学校の様子:児童数2552名(うち新校舎で学ぶ児童219名)、先生67名。校長:Mr. Tran Van Tam。 就学率および中学進学率100%。◆:新校舎:2012年末着工、9月完成。9月23日使用開始。9月23日に材ホーチミン日田総領事やご支援者達が出席して開校式を開催。新校舎完成により3部制で勉強していた子供達が、午前・午後の半日制で学べるようになり授業時間が大幅に確保されるようになった。ただ人口増加地区につき、教室数はまだ不足。敷地内の老朽化した校舎を移動したりして今後も校舎増設の必要がある。保護者や地域の人は教育に協力的。子供達を将来郡や国を担う人材に育てていきたい。★「日越友好年(日越外交関係樹立40周年)記念事業」















ベトナム

ドンナイ省ヴィンチュー郡ヴィンタン社第4村

ヴィンタン

小学校

分校

Vinh Tan

School

Branch

事業実施前の 状況

(2013年10月現在)児童数564名〈1,4,5年)。2,3年生は別の敷地で学ぶ。1995年~2004年の間に敷地内に何回か校舎が建設されたが、1995年建設の校舎は老朽化が進み使用できていない。そのため教室数が足りない状態が続いている。机・椅子等は1993-1998年に入れた物で古く、小学生のサイズに合っていないものもある。この村には22240人、4978世帯が生活。移住者が多く、農業(米・とうもろこし)で生計をたてるも、生活は厳しい。村人平均年収は14.640.000 VND(約7万円)。キン族93%、他少数民族が暮らす。

新校舎

7.5教室 修繕

生徒数

生徒561名(1~5年) • 先生

住民数

22240人 (4978世帯)

民族

キン族 (93%) ホア族、ヌン族、タイ ―族 支援

日本財団

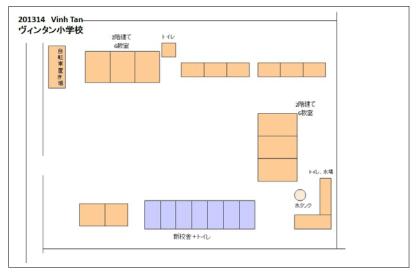
交流校



〈2014年4月現在〉◆学校の様子:児童数966名(1-5年)、先生·事務員55名。校長:Ms Nguyen Thi Anh Le。就学率100%、中学進学率100%。就学率は良いが、幼稚園に行かない児童が多いため1年生を繰り返す児童が多いのが問題。何人か知的障害児もいる。◆新校舎:2013年11月24日完成、12月6日使用開始。新校舎完成により児童・教師共にモチベーションアップ、英語、美術、音楽なども教えられるようになり、子供達の才能を伸ばす機会ができた。ただ依然として暗くて古い修復必要な校舎やトイレがあり、水が綺麗でないことが問題である(ミョウバンを含んでいる)。保護者や地方政府は協力的で、ドロップアウトしそうな児童の学習継続を説得したりしている。学生は優秀で80%を超える生徒が優秀生徒であり、教員も賞をとるなど質が高い。















ベトナム

タイニン省ズォンミンチャウ郡スオイダー社タンディ ン2村

スオイダーA

小学校 タンディン第2

分校

Suoi Da A

School Tan Dinh 2

Branch

事業実施前の 状況

(2012年10月現在) 児童数44名。1992年建設の3教室と古いトイレがある。本校 で122名が学ぶ。70%が少数民族タムン族でタムン語とベトナム語を使用。社 の人口は14.206人。社の中でも貧しいこの村は平地にあり、教育熱心である。 村人は農業(キャッサバ・米・野菜)と豚・鶏の飼育などを行うか、労働者と して働く。村民の平均年収は500万ドン(約21500円)に満たない。米の自給は 9ヶ月。飲料水と農業用水は井戸を利用し、量的には概ね十分。成人の識字率 は50%。農地不足と安定した仕事がないことが、最大の問題。

支援

日本財団

交流校

新校舎

生徒数

3+2教室+WC+井戸

生徒44名(1~5年生) • 先生7名

住民数 1832人 (502世帯)

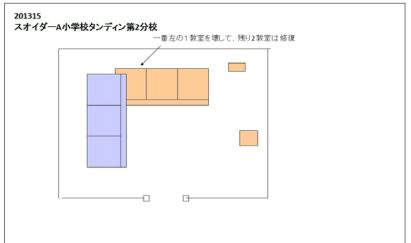
民族 タムン族(70%)

現在の状況

(2014年4月現在)◆学校の様子:分校児童数46名(他の分校含め学校全体で219 名、先生29名)。1年8名、2年10名、3年10名、4年10名、5年8名。校長: Ms. Pha n Thi Kim Luong。就学率および中学進学率100%。◆新校舎:旧校舎の2教室を 修繕、隣に新規で3教室を建設。2013年6月1日建設開始、2013年7月31日完成。 他の分校では校舎やトイレが不足している。保護者や村人は敷地内の修繕や道 徳教育などで協力してくれている。地方政府が清掃や門・フェンスなど支援し てくれる予定。少数民族児童の数も変わらずきちんと通学している。子供達に は将来郡や国の役に立てるような道徳感を身につけ学び続けてほしいと考えて いる。★「日越友好年(日越外交関係樹立40周年)記念事業」















ベトナム

チャビン省ティウカン郡ロントイ社

ロントイB

小学校

ディンフータン

分校

Long Thoi B

School

Branch

事業実施前の 状況

(2013年6月現在) 児童131名、教員9名。クメール族とキン族が約半数ずつ在籍。1986年建設の3教室の老朽化が進み、梁が朽ち、柱の一部は鉄筋がむき出し状態。特に雨季には屋根にあたる雨音が煩く、声が聞き取りにくい。また教室内が暑く授業に集中できない状態。地方政府支援で校舎建設の話があったが、経済の悪化により計画は凍結。郡の人口の約27%は貧困層。就学年齢の子供の5~7%は退学者や一度も学校に通ったことがない。貧困、教室不足、通学が困難であることや、親の子供の教育に対する無頓着が原因。

新校舎

3教室

生徒数

生徒131名 • 先生9名

住民数

1476人(356世帯)

民族

クメール族とキン族

支援

エルセラーン化粧品(株)

交流校

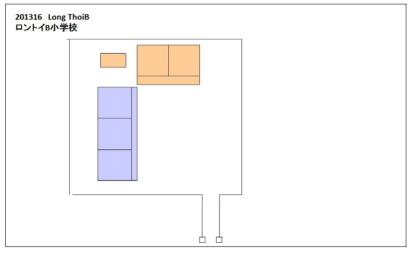
三国北小 (福井県)

現在の状況

(2014年2月現在) ◆学校の様子:児童数:126名(うち57名がクメール族)、教員9名。校長:Ho Hoan Kiem。◆新校舎(3教室)の建設と、元からある校舎のリノベーション(外壁塗り替え)を実施。旧校舎を取り壊し、その場所はセメントでかため校庭とし、国旗掲揚台や木を植えて整備した。新校舎完成により子供達はより活発に授業に参加し、広くなった校庭で遊び、また教員は快適な環境で自身をもって教えられるようになった。学校では環境保護や資源の節約、会話能力向上など文化・自然・社会などの知識を教え、子供達には国や社会、自分の人生の役割を果たし助けあえる人材になってほしい。2月25日エルセラーン1%クラブの皆様参加で開校式開催。★「日越友好年(日越外交関係樹立40周年)記念事業」















ベトナム

コントゥム省ダクト郡ダックロガ社

ダックロガ中(寮)

小学校

分校

Dak Ro Nga

School

Branch

事業実施前の 状況

(2013年4月現在)生徒数261名(うち寮生145名:寮に入りきらない生徒は周辺の家庭に預かって貰っている。)、教員25 名も寮生活。100%セダン族。高校への進学率は3-4割。進学しない子は家業の手伝い、農業、結婚等。地方政府より寮生には42000 ドン/1 ヶ月の支援あり。寮生は1ヶ月分の米を持って寮生活を行っている。一番遠い子で実家まで10km。月曜朝から土曜昼迄授業を実施。教科は、数学、ベトナム語、英語、物理、地理、歴史、科学、生物、音楽、体育、美術、IT の12 科目。

新校舎

8部屋十台所十食堂+WC

生徒数

生徒261名 (うち寮生145名) ・先生25 名 支援

草の根資金、日本財団

交流校

住民数

民族

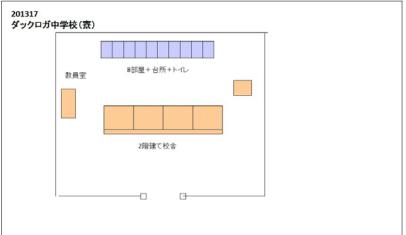
セダン族

現在の状況

〈2014年4月現在〉◆学校の様子:生徒数269名、先生24名。校長:Mr.Nguyen Trong Tam。就学率100%。◆寮の建設:2013年7月23日建設、10月22日完成、使用開始。寮の不足から近隣に預かってもらう生徒もあったが、今回の寮完成で全員収容可能となった。地方政府からは、門やフェンス、校庭整地などの支援があった。寮設備は整ったが学校としてはまだ机、椅子、教材などが不足している状態。生徒達にはより学びを深め、道徳を身につけ、将来国や地域のために役立てる人間に育ってほしいと願っている。★日本政府「草の根・人間の安全保障無償資金協力」との共同プロジェクト





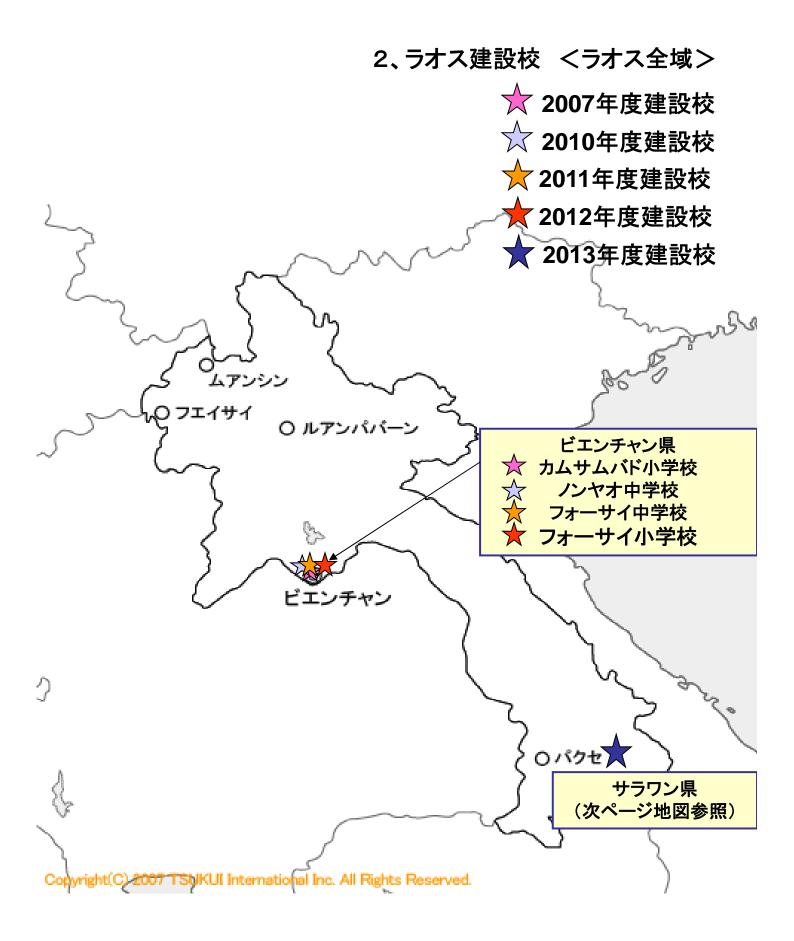


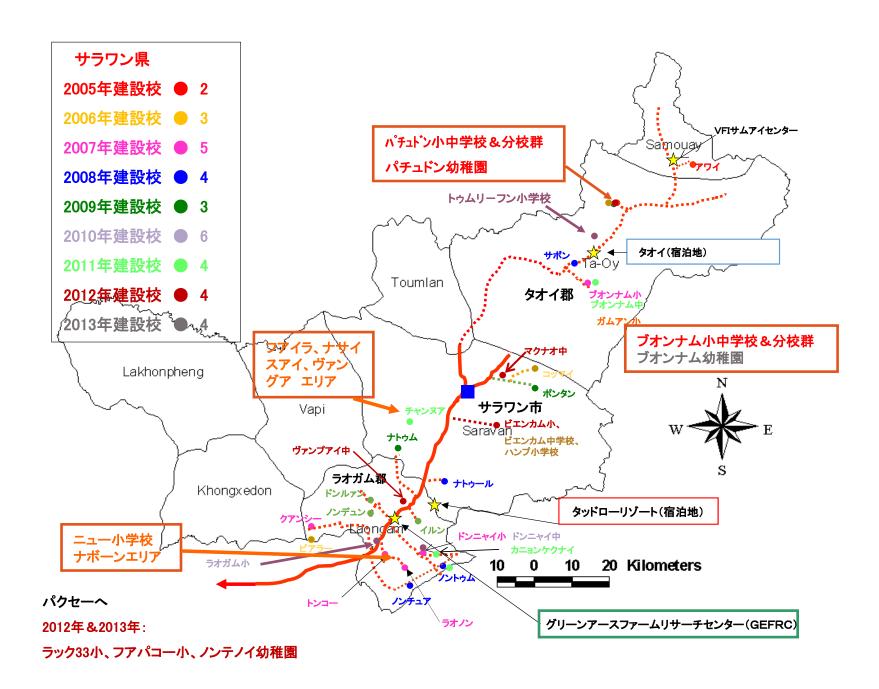












ラオス

サラワン県ラオガム郡

ニュウ

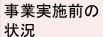
小学校

分校

Ngiw Secondary School

School

Branch



(2011年11月) 低地ラオ族、タオイ族、647人(うち女性368人)の村。年平均収入約55,000円/人。6-10歳の就学年齢児童数は95人(うち女子48人)、児童数は161人。(入学の年齢にばらつきがあることや、再履修のため、就学年齢前後の年齢の児童も学んでいる。)教員数は6名(1-5年生担任と校長)現在、校舎は村人手作りの仮小屋も含め3つ。雨漏りのため、雨が降ると子供たちがかさをさして勉強している教室も。 村人は、学校の柵や教室、机いすの修理・補修を毎年行っている。

支援

交流校

ダイリキ株式会社

新校舎

6室+WC+井戸+水タンク

生徒数

現在の児童数は156名、教員6名。

住民数

647人

民族

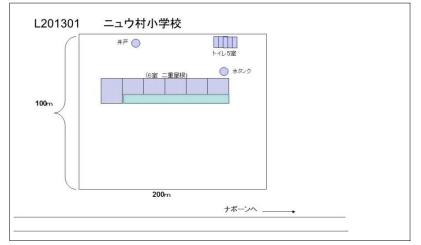
低地ラオ族、タオイ族

現在の状況

(2014年2月) 村人が用意した新たな2haの土地に、新校舎竣工。3月6日、ダイリキ様を迎えて開校式が開催された。村人も整地など作業を手伝った。現在の児童数は156名、教員6名。















ラオス

サラワン県サラワン郡

ハンプ

小学校

分校

Hangphou

School

Branch

事業実施前の 状況

ラオス南部パクセー空港から車で約4時間。サラワン市中心部から幹線道路を約8km、雨季はアクセスが途絶する道を25km、最奥の村。ビエンカムまで10km。村人は主に稲作、家畜を飼って生計をたてる。米自給率は10カ月/年。一家族当たりの年間収入は約50,000円。6-10歳の就学年齢児童数は66人(うち女子36人)でほぼ全員が就学。2013-2014年度からは、77名が学ぶようになる。教員数は2名。現在の小学校(1教室)は、2006年に行政の支援を得て村人たちが作ったもの。教室は込み合い、複式で授業を行っている。学校に井戸は無く、教科書や教材も不足している。3教室の新校舎に建替え、児童の学習環境を整備する。現在の校舎は幼稚園として使う予定。

新校舎

3教室+WC+井戸

支援

生徒数

生徒65名(1~5年生) - 先生2名

太田道寛様

住民数

366人 (73世帯)

交流校

民族

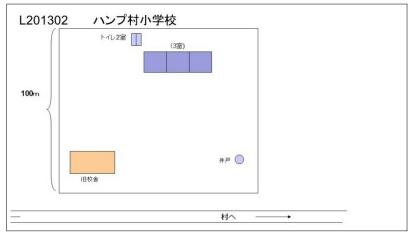
スワイ族

現在の状況

(2014年2月)新校舎竣工。2月28日、太田様兄弟を迎え、開校式&交流会開催。カオプンを一緒に食べたり、文房具などプレゼント贈呈、日本紹介や折り紙など。















ラオス

サラワン県タオイ郡

ブオンナム幼稚園

小学校

分校

Buongnam Kindergarten

School

Branch

事業実施前の 状況

少数民族の子供は、国の公用語ラオス語が分からないために小学校1年生で落第する率が高い。このため、少数民族の村への幼稚園開設は初等教育修了率向上のため、重要性が増している。まずは、ブオンナム小の食堂を活用して、幼稚園課程が開設されたが、より多くの子供を受け入れるため、幼稚園舎を建設する。村人たちは木で手作りのブランコやシーソーを作り、子供達の集う場となっている。

支援

交流校

高橋保子様

新校舎

1教室+WC

生徒数

21名

住民数

289人

民族

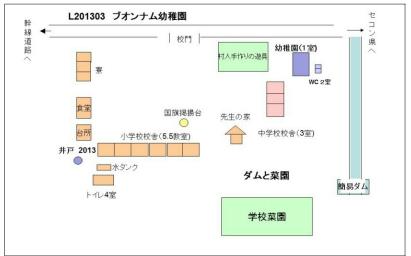
タオイ族

現在の状況

現在建設中。















ラオス

サラワン県サラワン郡

ビエンカム中

小学校

分校

Vienkham Secondary

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年12月現在) 主に米や野菜の農業で生計を立て、平均年収は2万円/1家 庭。サラワン市中心から幹線道路を約8キロ、雨期にはアクセスが途絶する道 を約12キロ。村人が用意していた新たな土地に2012年、5.5教室の小学校新校 舎を建設。村人たちも整地や作業に積極的に参加、学校PJを通して村の団結力 が高まった。このエリアにはこれまで中学校がなく、殆どの生徒は進学できな かったが、小学校の旧校舎を再利用して中学課程を新設。97人(うち女子36) が4人の先生のもとで学んでいる。しかし校舎は老朽化し机いす教材も不十 分。小学校と同じ敷地内に中学校(4教室)を新設。近隣6村の中等教育へのア クセスを改善、教育環境を整備する。

支援

交流校

イートアンド株式会社

新校舎

5教室

牛徒数 生徒40名(1年生)

住民数

1123人(178世帯238家族)

民族

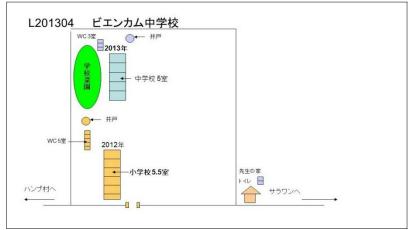
スワイ族・タオイ族

現在の状況

2013年11月 中学校5教室 (<1教室増設、9000USD追加)。11月3日、イートア ンド様を迎えて開校式開催。手作りチャーハンを披露。現在の中学生徒数1-3年 66名(開校時期が遅れたため、他の中学に登録してしまった)次年度よりさら に生徒が増える見込み。















ラオス

チャンパサック県チャンパサック郡フアパコー村

フアパコー

小学校

分校

Hua Pa Khor

School

Branch

事業実施前の 状況

(2012年4月29日) 県及び郡の教育局担当者、村長、古老、校長、村人で村人集会(父親10名、母親20名、児童30名参加)。村としては、出来ることは何でもがんばる。建設後も、学校運営管理を行う。パクセに近いが故に却って行政やから見過ごされてきた。学生たちの協力で建設する対象としては適当と判断する。① 2012年度新校舎(AWS支援)2.5C/R+トイレ(+井戸)開校式 2 013/2または3 (このとき、2013年度の新校舎の工事は、基礎工事までにしておく)・開校式の朝、旧校舎を撤去する(学生も手伝う)② 2013年度追加新校舎3教室(REALIZE支援)

新校舎

3教室

生徒数

生徒109名(幼稚園、1~5年生、うち女子53人)、先生5名

支援

国際学校建設支援協会

交流校

住民数

727人

民族

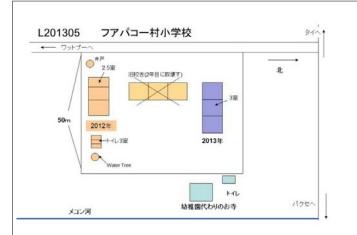
低地ラオ族

現在の状況

(2014年2月) 校舎・施設はきれいに使われており、不備は無し。教育向上のため、図書館・教科書・本・算数/理科の教材・地図・スポーツ用品を必要としている。学生たちが毎年訪問し、継続支援のほか、運動会や交流会などもプレゼントしている。現在の児童数90名。就学率100%。















L201306

ラオス

チャンパサック県ポントン郡

ノンテノイ幼稚園

小学校

分校

Nongtenoy Kindergarten

School

Branch

事業実施前の 状況 (2013年3月)人口1013人。児童数128人/幼稚園20人、教員5名 (就学率100%)老朽化した校舎と、壁も無い掘っ立て小屋で幼稚園児童と小学生が学んでいる。村としては小学校を建替えてほしいとの希望があるが、継続支援を約束し、掘っ立て小屋を取り壊し、幼稚園舎を建設する。

支援

交流校

国際学校建設支援協会

新校舎

2室+WC

生徒数

幼稚園20人

住民数

1013人

民族

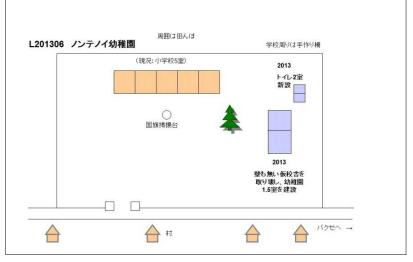
低地ラオ族

現在の状況

(2014年7月)竣工。毎年、支援者である学生団体が訪問し、交流と、支援活動を行っている。















2		

ラオス

サラワン県サラワン市

サラワン教員短大台所

小学校

分校

Salavan TTC

School

Branch

事業実施前の 状況

南部最大の教員養成短大で、他県からの生徒も含め、約3000人が学ぶ。寄宿寮 は不足し、ござ1枚分だけが自分のスペース。自炊のための台所は、吹きさら しの屋根つきの土間に七輪が並んでいるだけ。台所スペースも不足しているた め、特に雨季には順番待ちで調理することが非常に困難となっている。

支援

交流校

谷川裕様他

新校舎

2室

生徒数

住民数

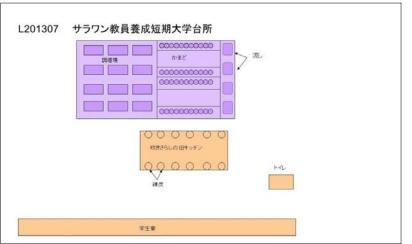
民族

現在の状況

3月) 恒常的な建設物としての台所に、レンガ製かまど、調理台、流し台を備 え、雨季でも多くの生徒が調理できる設備が整った。





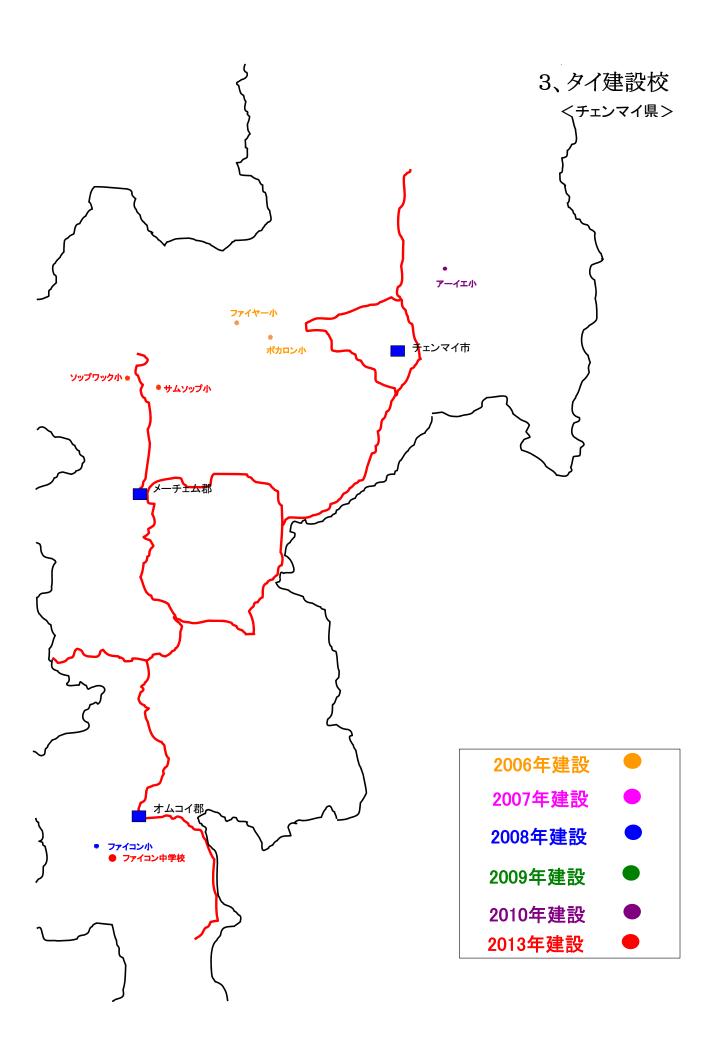












T201301

タイ

チェンマイ県オムコイ郡ヤーンピェン地区ファイコン 村

ファイコン中

小学校

分校

Huay Khong secondary

School

Branch

事業実施前の 状況

熱血先生たちの努力で、AEFAの他行政や様々な機関から支援が集まり、学校として成長著しい。いい学校になれば、また子供が集まり児童数が増え、教室や寮が不足する・・という状況。悲願であった中学課程が開設され、小学校や集会所を間借りして授業を行っていた。「いわき生徒会長サミット」の支援で、地域初の中学校を建設する。

支援

交流校

ワンコイン基金

いわき生徒会長サミット

新校舎

新設(3教室) 十女子寮移転

生徒数

児童・生徒数(幼[~]小262人)、中学61 人合計323人 教員・スタッフ 17人

住民数

民族

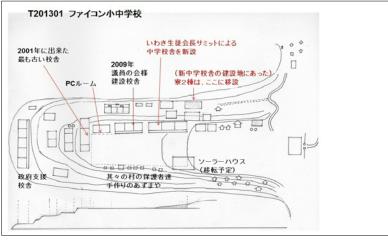
カレン族

現在の状況

(2013年12月)3教室の新校舎竣工。現在、1-3年生まで61名の中学生が学んでいる。児童生徒数 幼~小262人、中学61人 合計323人教員・スタッフ 17人 (去年は25人)女子寮も整備され、生活環境が向上した。















Ⅲ交流事業

AEFA出前授業 ~スカイプでの授業など様々な授業のかたち~



AEFAスタッフ&留学生による授業



アジアについて調べたことを子供が発表



ラオスの交流校への寄付金と手作り絵本の贈呈



先生発案の ワークシート

2013年、AEFA交流校のうち31校での出前授業を実施。「一過性の授業で終わらせないように、その後の学び学習につなげるきっかけとしたい」「現地の子供達の生活を知った上で、交流作品づくりをしたい」「2回の出前授業の間に子供たち自らアジアを調べる時間をいれてより深みのある学習につなげたい」「ワークシートを作って配布したい」など交流担当の先生によってリクエストは様々なので、出前授業の内容については先生方と相談をしながら、授業をつくりあげています。

今年は島根にある八川小学校と東京のAEFA事務所を「スカイプ」でつないでの授業を実施しました。 AEFA事務所にお手伝いに来てくれた留学生のフェンさんと直接話をすることができました。遠く離れていてもこうして顔の見える国際理解の授業も可能です。

授業後に具体的に子供達の「アクション」に結びついている学校もあります。岡山県にある柏島小学校では、「活動を通じて、世界の状況を知り、自分たちが出来ることは何かを考え、行動にうつせるような子供にしていきたい。」と募金活動を通じて、ラオスの交流校(サボン小)に毎年浄水器や文房具などをそろえるお金を寄付しています。玉島南小学校ではアルミ缶回収活動により、ベトナムの3人の小学生が1年間学校で学べる費用を寄付しています。

東京フォーラム (2013年12月26日) 〜新しい授業を一緒に考えませんか〜

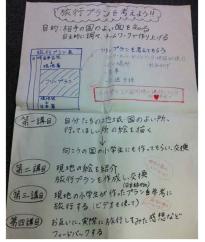
今年は新しい形のフォーラムを企画開催しました。「自分達が交流の主体者になる」ことをテーマに開催。 "アジアとの国際交流・国際理解の新しい・楽しい授業を作る"全員参加型の取り組みとしました。4グループに分かれて、アジアの民族衣装やいら、全く新しい授業を1から自分達で作るというものです。授業を実践することにより子供達の何を変えたいのか、目的とBEFORE/AFTERを明確にしました。

一般社団法人 麻布教育研究所より 村瀬公胤先生にご出席いただき、総 括を頂きました。





写真や雑貨などを使い授業を考える



<授業例>

「旅行プランを考えよう!」

相手を深く知り興味関心を増やすだけでなく、自国への関心も深める。

福井フォーラム (2013年12月24日) ~ つなげよう・ひろめようAEFAの思いと活動~







2005年、ベトナムとの交流をはじめた福井県坂井市立平章小学校を皮切りに、県内8校がベトナムやラオスの学校と交流。しかし、郵便制度も無いアジアの山岳少数民族の僻村との交流は、年に1度の現地の学校との作品やりとりと、AEFAスタッフによる出前授業で、交流しているという実感をもちにくいのが現実です。

平章小学校青木校長先生の呼びかけで、県内13 小中学校、51名の先生方が集まり、末永くAEFAの 交流活動を継続していくために、年1回の取り組み を活性化するために、教育現場で何ができるのか などを話し合いました。

今まで各学校がそれぞれ活動を行っていたが、このフォーラムをきっかけに横の連携ができ、今後、 自主的な「面」での活動が期待できます。

アジアとの交流、国際理解は決して難しいものではなく、自発的・内発的に、主体者としてまず【実践】してみることが大切なのではないでしょうか。AEFAの目指すことは、同じ時代に同じアジアに生きる子供達の生活を知ることにより、日本の子供達が自らの置かれた環境を振り返り、いのちの大切さを考える。なぜ学校に行くのか、なぜ勉強するのか、何のために生きるのか、子供達が自分なりの答えを自ら見出すための学びと一助となること。これからも、様々な立場で子供・教育にかかわるみなさまと共に、実践を続けていきたいと思います。

東京都出前授業 32の小中学校にて ~ 道徳授業地区公開講座でも授業 ~



調布市立多摩川小学校

総合の学習で3年生に授業。その後調べ学習に 取り組み、学習発表会を実施しました。



太田区立入新井第四小学校

道徳の授業で4年生に授業。社会科で学習した「水」についてと、AEFA出前授業を結びつけ、ラオスに井戸を寄贈するために募金活動をおこないました。



新宿区立愛日小学校

道徳「国際理解」の中で6年生に授業。公開日でもあり保護者の方々も参観。「なんのために勉強するのか親子で考える良い機会になりました」と保護者の方より。



世田谷区立経堂小学校

道徳「国際理解」の中で5年生に授業。継続して ラオスの学校との交流したいとの希望あり。

2013年8月末に、東京都教育委員会のご理解とご協力により、東京都内の小中学校に出前授業の案内をお送りいただいた。結果として、4つの中学校と28の小学校で出前授業を実施。東南アジア(ラオスやベトナム)の山岳少数民族の子供達の暮らしや学校の様子をもとに、日本であたり前に、日常生活を送り、学校生活ができることに感謝する気持ちを養いながら人の役に立つ人間になろうとする心情を育てたいと考え、出前授業を行いました。

拝島中学校の道徳地区公開講座では「学校に行ける幸せ〜当たり前の日常生活を見直す〜」というテーマでアジアの子供達の暮らしについて授業。保護者だけでなく地域の方々も参観。600名弱の大人数の中、生徒達は積極的に授業に参加してくれました。

<代表生徒からの言葉>

「最も印象に残ったのはアジアの子供達は、毎日働いて忙しくても、前向きに生きているということです。僕たちが当たり前と思っている日常生活は、とても幸せだと思いました。これからどのように生きて行きたいか考えさせられました。」



日越外交関係樹立40周年(日越友好年)記念事業

~ ともに描く私たちの国・文化・未来 ~



マックディンチ小⇔青柳小(東京) テーマ:「私たちのふるさと」



タンホアA小⇔国立第七小(東京) テーマ:「私たちの国の食べ物」



アップラン小⇔玉島南小(岡山) テーマ:「私たちの学校行事」



ポコ小⇔村岡小(福井) テーマ:「私たちの学校」

"日越友好年(日本 - ベトナム国交樹立40周年)である2013年は、長年交流を続けている日本とベトナムのフレンドシップ校同士の子ども達が、同じテーマでともにひとつの作品を作り上げ、交流の記念としました。ベトナムの交流校11校、日本の交流校11校が参加。作品を2枚ずつつくり、友情の記念に1枚をベトナムで、もう1枚を日本の学校で保管としました。今まで作品の行き来はあったものの、"共にひとつのものを作り上げる"のは初めての試みで、まさに日越友好年の記念となるプロジェクトとなりました。

く参加した御田小学校より>ベトナムの子供達から絵が届き、わくわくしながら拝見しました。ベトナムの交流校が"学校"というテーマについて選んできたので、子ども達もどんな風に描こうかとみんなで話合い取り組みました。ベトナムの子供達の絵はカラフルだったり、人の描き方も違ったりで、国によって違いがあることがわかり、子どもたちとも興味深く眺めていました。貴重な機会になりました。

2013年度 出前授業一覧表

	日時	学校	対象	内容	講師
1	2013/2/15	目黒区立下目黒小	4年生	幸せってなんだろう~自分たちの・ラオスの子供の幸せ	金子•田宮
2			6年生	ベトナム山岳少数民族の子供達の学校と生活	宍戸
3	2013/6/1	筑波大学付属坂戸高等学校	2年生	総合的学習:学プロsocial action programme	金子
4	2013/6/4	浦安中学校	1&2年生	誰かのために・自分のために ~ AEFAの活動を通して	金子·山田
5		いわき生徒会長サミット		タイ・ファイコン中学校について(ワンコイン)	宍戸
		勝山市成器西小	4.5.6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
	2013/7/3	勝山市村岡小	3.4.5.6.年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		福井県乾側小	全校	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
9	2013/7/4	坂井市三国北小	1-6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	宍戸・山田・楠山
		坂井市丸岡南中学校	共々委員会	ワンコイン・スクールプロジェクトの紹介	宍戸・山田・楠山、松本先生
		坂井市丸岡中学校	全校	ワンコイン・スクールプロジェクトの紹介	宍戸・山田・楠山
		坂井市平章小	全校	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		鯖江市河和田小	5年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		板橋区立大山小		日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		袋井市立浅羽南小学校	全校	ベトナム山岳少数民族の子供達の学校と生活	宍戸
	2013/7/12		6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		いわき生徒会長サミット		タイ・ファイコン中学校について(ワンコイン)	宍戸·金子
		札幌市美園小学校	5年生	ラオス・ラオガム小学校との交流	中西
19	2013/9/3	国立市立第七小	5年生	ベトナムについて知ろう!(シンチャオ!ベトナム)	山田•楠山
20	2013/9/5		6年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸·楠山
21			ボランティア委	AEFAと私:ワンコイン・スクールの狙い・・子供達の心に点り	谷川
22		港区立高輪台小	3年生	ベトナムについて知ろう!(シンチャオ!ベトナム)	山田·楠山
23			6年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸
24	2013/10/4		6年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸
25		世田谷区武蔵丘小学校	4年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸
			3年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	谷川·宍戸
		品川区後地小学校	5年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸
28	2013/10/21		4年生		宍戸・田宮
			5年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸・山田
			6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	山田・楠山
		荒川区諏訪台中学校	1年生		宍戸
	2013/11/1	武蔵村山第二小学校	4年生	当たり前の生活を見直す~アジアの子供達の暮らしをとお	
		昭島市拝島中学校	全校	当たり前の生活を見直す~アジアの子供達の暮らしをとお	
		野田市北部小	全校	北小万博 ラオス館 ~森のスーパーマーケット	佐藤·菊地·石塚
			特別支援	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
			特別支援	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
		足立区立弘道小学校	4年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
		杉並区立高井戸第三小学校	2年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
			6年生	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
			3年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
			5.6年生	ラオスの子供達の生活	山田·楠山
			5年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
			4.5.6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		大田区立入新井第四小学校		東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	央戸
		目黒区下目黒小	4年生	ブオンナム小学校との交流を通じて	田宮・金子
			6年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
			5年生	日本とベトナムの過去・現在・そして未来~日越国交40周年	
		<u> </u>	3年生		央戸
49	2013/12/21	港区立笄小学校	全校	東南アジアと子どもたちの生活の現状を考える	宍戸







広報活動

1 AEFA会報 第15号 2013年3月20日発行



2 AEFAホームページ

2013年12月改訂



第16号 2013年8月20日発行



3 AEFAブロ



4 各報告書





マスコミによる活動紹介一覧

	媒体	掲載紙•番組名	コーナー名	内容	日付
1	WEB	首相官邸 WEB		First Day of Prime Minister's visit to South east Asia	2013.1.17
2	WEB	外務省 HP	安倍総理大臣	安倍総理大臣のベトナム訪問	2013.1.17
3	WEB	スポニチアネックス	社会	昭恵夫人も"外交再デビュー"	2013.1.17
4	WEB	読売オンライン	政治	昭恵夫人、2度目の外交デビュー	2013.1.17
5	WEB	毎日新聞 WEB		〈安倍首相夫人〉ベトナムでファーストレディ 一再デビュー	2013.1.16
6	新聞	福島民友		首相夫人昭恵さん 子どもたちと交流 いわき・赤井小など訪問	2013.2.6
7	新聞	福島民報		安倍首相の妻昭恵さん いわきで児童、生徒と交流	2013.2.6
8	新聞	いわき民報	夕刊	首相夫人昭恵さんが児童生徒と交流 赤井小と平三中を訪問	2013.2.6
9	新聞	福島民友		首相夫人昭恵さんが平三中生徒会を激励	2013.2.7
10	新聞	教育新聞		山岳少数民族の村々に学校を建設 交流の真の受益者は日本の子ども	2013.2.28
11	新聞	中日新聞		途上国に学校小遣いで 袋井の高南、浅羽 南両小「日越」40周年取り組み	2013.3.26
12	WEB	東京新聞 WEB		被災地やアジアのために 筑波大付属 坂戸高2年生 川越で募金活動	2013.6.16
13	新聞	県民福井		ベトナム学校生活紹介 NPO 勝山の2小で出前授業	2013.7.4
14	新聞	福井新聞		三国北小 ベトナムの生活学ぶ アジア友好協が出前授業	2013.7.6
15	新聞	日本教育新聞		民間人校長「活躍」の条件とは 遠藤正芳 AEFA 理事	2013.7.15
16	新聞	中日新聞		袋井市のプロジェクトスタート ベトナムに学校建設を 日越交流事業 市民や企業から資金募る	2013.9.28
17	新聞	静岡新聞		平成の浅羽佐喜太郎目指して 「ベトナムに学校」始動 袋井市 来年9月開校へ	2013.9.28

18	新聞	静岡新聞		袋井の偉人功績を紹介 浅羽 ふれあい大学が開講	2013.9.29
19	新聞	毎日新聞	希望新聞	中学生がタイに校舎贈る いわきの 44 生徒会団結、募金	2013.11.8
20	新聞	産経新聞	オピニオン	人生の裏側まで学ぶ機会 (曽野綾子の透明な歳月の光)	2013.11.13
21	新聞	県民福井		丸岡で初のフォーラム 東京の NPO 日本と東南アの学校橋渡し	2013.12.25
22	新聞	福井新聞	奥越 坂井	子どもの国際理解大切 坂井・アジア教育協フォーラム 県内 15 小中教諭ら再認識	2013.12.25

2013年 出張一覧

出張期間	出張者	出張地	出張目的
1月15日 ~ 1月30日	谷川 洋	ベトナム(ハノイ市・ホーチミン市・タイニン省)	フートューB小学校児童による安倍総理ご夫妻表敬同行、建設候補校視察
1月15日 ~ 1月22日	楠山 紀子	ベトナム(ハノイ市・ホーチミン市・タイニン省)	フートューB小学校児童による安倍総理ご夫妻表敬同行、建設候補校視察
2月24日 ~ 3月2日	谷川 洋	ラオス(チャンパサック県・サラワン県サラワン郡・ラオ	ラオス開校式、建設校及び新規候補校視察(ドナー同 行)
2月24日 ~ 3月5日	金子 恵美	ラオス(チャンパサック県・サラワン県サラワン郡・ラオ	ラオス開校式、建設校及び新規候補校視察(ドナー同 行)
4月10日 ~ 4月19日	楠山 紀子	ベトナム(チャビン省・コントゥム省)	2012年建設校視察、交流校訪問、奨学生との面談
4月10日 ~ 4月19日	山田 梨絵	ベトナム(チャビン省・コントゥム省)	2012年建設校視察、交流校訪問、奨学生との面談
5月1日 ~ 5月8日	金子 恵美	ラオス(チャンパサック県・サラワン県サラワン郡・タ オイ郡・ラオガム郡)	ラオス建設校進捗視察、交流事業、新規候補校視察 (ドナー同行)
5月23日 ~ 6月8日	谷川 洋	ベトナム・ラオス・タイ	ベトナム打ち合わせ、ラオス開校式、タイ(KIZUNA研修会)、建設候補校視察
9月21日 ~ 9月30日	谷川 洋	ベトナム(ドンナイ省・ダナン・フエ省・クアンナム省)	ベトナム開校式、交流校訪問、クアンナム省候補校視察
9月21日 ~ 9月30日	宍戸仙助	ベトナム(ドンナイ省・ダナン・フエ省・クアンナム省)	ベトナム開校式、交流校訪問、クアンナム省候補校視察
9月21日 ~ 9月25日	山田梨絵	ベトナム(ドンナイ省・チャビン省)	ベトナム開校式、交流校訪問
11月2日 ~ 11月10日	谷川 洋	ラオス(チャンパサック県・サラワン県サラワン郡・タ オイ郡・ラオガム郡)	サラワン県ビエンカム中学校開校式およびカニョンケクナイ小学校交流会、既存建設校及び建設候補校の視察
11月2日 ~ 11月10日	金子 恵美	ラオス(チャンパサック県・サラワン県サラワン郡・タ オイ郡・ラオガム郡)	サラワン県ビエンカム中学校開校式およびカニョンケクナイ小学校交流会、既存建設校及び建設候補校の視察
12月1日 ~ 12月13日	谷川 洋	ベトナム(HCMC、クアンナム省)・タイ(チェンマイ 県)	開校式、VN領事館訪問、既存建設校訪問、2014年度 建設地及び候補校視察
12月1日 ~ 12月13日	金子 恵美	ベトナム(HCMC、クアンナム省)・タイ(チェンマイ県)	開校式、VN領事館訪問、既存建設校訪問、2014年度 建設地及び候補校視察

2013年 年間活動

		全体		学校建設•交流事業
1月			16	安倍総理夫妻を、フートューB小学校児童らが
				表敬訪問(ベトナム)
2月			5	安倍総理夫人 いわき市学校訪問
			28	ラオス・ラック33小学校開校式
				(肥後良輔様ご支援校)
3月	7	理事会	2	ラオス·フアパコー小学校開校式
	20	第6期 AEFA定時総会		(国際学校建設支援協会様ご支援校)
	20	AEFA 会員の集い 会報15号発行		
	22	㈱近江兄弟社にて理事長講演		
4月		新体制発足、参与·宍戸、		
		スタッフ・山田 加入		
 			ļ	
5月			29	ラオス・ヴァンプアイ中学校開校式
				(ダイリキ株式会社様ご支援校)
6月		-m-+- A		
	20	理事会		カンボジアKIZUNAプロジェクト師範学生に
				よるタイ・ファイコン校視察
7月				福井県交流校にて出前授業
			17	東京都教育委員会訪問
8月	20	 フレンド会報16号発行	29 2	いわき生徒会長サミット第3回全体MTG 第40回全海研全国大会参加・発表(東京)
ОЛ		プレント云報10号光1] AEFA ご支援者様の集い	2	第40回主海ຫ主国人云参加·光衣(宋尔)
	20	ACFA こ义仮有様の未い 		
9月	11	 理事会		 東京都教育委員会紹介による出前授業開始
371		(4		袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト開始
			23	ベトナム・グエンチータイン小学校開校式
			25	ベトナム・ソンヴァン小、プラオ小合同開校式
				(エルセラーン1%クラブ様ご支援校)
10月			15	ベトナム・PACCOMとの打ち合わせ
11月			3	ラオス・ビエンカム中学校開校式
				(イートアンド株式会社様ご支援校)
			4	ラオス・カニョンケクナイ小学校交流会
12月		AEFA HP改訂	6	ベトナム・ヴィンタン小学校交流会
	17	理事会		シェアードスマイル様(ディアーズブレイン社)
	24	AEFA福井フォーラム開催	11	タイ·ファイコン中学校竣工確認
	26	AEFA東京フォーラム開催	11~13	倉敷市交流校にて出前授業
			21	いわき活動実践報告会参加